

第3回「外国人観光旅客利便増進措置に関する検討会」

議事概要

日 時：平成30年8月1日（水）15：00～17：00

場 所：中央合同庁舎第3号館 国土交通省4階特別会議室

出席者：

（委員）山内座長、

大西委員、鈴木委員、ダイクス委員（代理：谷口委員）、高野委員、北條委員

※50音順

（国土交通省）和田観光庁次長、平岡観光庁観光地域振興部長、加藤観光庁総務課長、田口観光庁外客受入担当参事官、小熊総合政策局公共交通政策部総合交通担当参事官、五十嵐鉄道局総務課長（代理：上手鉄道サービス政策室長）、河原畑自動車局総務課長（谷口総務課企画室長）、松本海事局総務課長（代理：飯塚内航課長）、魚住港湾局産業港湾課長（代理：塩田産業港湾課クルーズ振興室長）、大野航空局航空ネットワーク部航空ネットワーク企画課長

○ 外国人観光旅客利便増進措置に関する基準及びガイドラインの素案について

<基本的な考え方>

- ・ 実施予定期間の「（2）資本的資質を必要としない・・・」については、この文章だけだと解釈が難しくないか。例えばトイレは（1）なのか（2）なのかなど。

<多言語による情報提供>

- ・ 異常時の情報提供は重要だが、すでに実施している例をみるとHP内や同じモード間でも情報がバラバラであるため、ユーザーが求める情報を同レベルで簡素に提供できるようにすべき。例えば共通性の高い「運休」などは、ピクトグラムを作ってしまうのも手である。

<Wi-Fi利用環境の整備>

- ・ Wi-Fiのスループットは様々な制約条件によって安定しないため、「円滑な通信」については、あまり厳しく書きすぎない方がよい。
- ・ P.9「ガイドライン（素案）」の3つ目の◇については、災害発生の特定制約や認証の解放基準など様々な条件が想定されるため、もう少し詳しい運用想定を記載すべき。

<ICカード対応>

- ・ ICカードの相互利用は、ランニングコストの問題から解放されないと進まないと考えられるため、このコスト削減方策（支援方策）についての整理が必要。

<インターネット予約環境の提供>

- ・ ユーザーはトータルでの予算感を比較する傾向があるため、インターネット環境については「予約」に限らず、地方の鉄道系サイトまでユーザー自身で検索可能か、身近に情報にタッチできるか、といった視点も重要。

★主な意見については以上。たたき案をベースとして、上記意見を踏まえた上でブラッシュアップを図ることで合意された。

以上